

「グローバル・ギャグ・ルールから半年：米国国務省のレビューに対するIPPF声明」

国際家族計画連盟 (IPPF) は、1952年に設立された、セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス (SRH) 分野で活動を展開する世界最大のNGOです。日本初の女性国会議員で、家族計画運動のパイオニアであった加藤シヅエ氏はIPPF創設メンバーの一人であり、IPPFと日本は緊密な協力関係を築いてきました。国際人口問題議員懇談会 (JPPF) とは、1974年の創設時より40年来のパートナーシップにあるだけでなく、JPPF活動を長年支援してくださっています。

現在、IPPFは、140カ国以上の加盟協会を擁する連盟として、170カ国以上で事業を実施し、2016年には世界中で1億8,250万件のSRHサービスを提供しました。しかし、米国がグローバル・ギャグ・ルール (GGR) を再導入したことより、人口・家族計画分野に対する支援が全面的に停止され、IPPFの活動はかつてない困難に直面しています。今号は、GGRの悪影響に関するIPPFの報告をご紹介します。

(引用: <https://www.ippf.org/jp/news/ippf-statement-us-state-department-six-month-ggr-review>)



IPPF に対するグローバル・ギャグ・ルールの影響は、サービス利用者の命を左右する問題

国際家族計画連盟 (IPPF) の加盟協会のサービスを受けている人々にとって、グローバル・ギャグ・ルール (GGR) が与えた影響は破壊的です。GGR の導入で米国からの資金援助が途絶えたため、合計で 29 カ国の加盟協会で、クリニックの閉鎖、スタッフの解雇、サービスと物資の不足などが起きていま

¹グローバル・ギャグ・ルール (口封じの世界ルール) は、人工妊娠中絶に関連した問題に取り組む団体や NGO に対して、米国政府は資金援助を行わないという方針。1984年メキシコシティで開催された国連人口会議で、当時のレーガン大統領 (共和党) が発表したことから「メキシコシティ政策」とも呼ばれている。

す。最も極端な形で導入されてしまった今回の GGR は、家族計画、HIV、性とジェンダーに基づく暴力、結核など、男性、女性、若者向けの医療ケアの充実を阻害する恐れがあります。

IPPF の加盟協会は、リプロダクティブ・ヘルス・ケアを基本的な人権と考え、誰もが自分のウェル・ビーイング（健康に安心して過ごせること）に関する選択が自由にできるべきだと考えます。GGR はこの権利をむしばむだけでなく、これを侵害するものです。そのため、IPPF とその加盟協会は GGR を支持することは決してできません。

今回のレビューは GGR の長期的な影響を数値化できていません。しかし、ケアを必要とする人々は、その影響を体感しています。各国の IPPF 加盟協会は、クリニックを閉鎖し、職員を削減し、医薬品などの必要な医療物資の調達を減らさざるを得ない状況です。そして現在、起こっていることは、これから長く続き禍根を残す悲劇の始まりに過ぎません。

米国政府による支援の打ち切りによりサービスと人々に様々な影響があります。そのすべてが数値化できるわけではありません。IPPF 加盟協会がサービス利用者にとってたった一つのライフラインになっていることが少なくないからです。一人ひとりが失うもの、つまり、自分の人生の選択を自分でできなくなる、という変化は、数値以上のものです。

米国国際開発庁（USAID）の家族計画だけでなく HIV 向けの援助をも失ったことで、アフリカ、中南米、カリブ海地域の多くの国々のサービス利用者の命と健康に対する影響が倍増します。これらの地域では、援助カットによる影響が甚大で、周縁化し、脆弱な人口への影響が特に大きいからです。

GGR による悪影響の例

モザンビーク

www.ippf.org/blogs/global-gag-rule-ggr-cuts-deep-sexual-and-reproductive-healthcare-mozambique（英語）

IPPF 加盟協会：IPPF モザンビーク（AMODEFA）

- 資金の 60%を USAID に頼っていた
- 加盟協会スタッフの 47%を削減した（43 名を解雇し、650 名のピア・エデュケーターの活動を終了した）
- 18 カ所の若者に親しみやすいクリニックを閉鎖した
- 72 件/月あった移動クリニック活動を中止した

スワジランド

IPPF 加盟協会：IPPF スワジランド（FLAS）

- 資金の 25%を USAID に頼っていた
- 12 名の職員と 26 名のアウトリーチワーカーを解雇した
- 活動範囲を 14 から 4 の市町村に縮小した

ボツワナ

IPPF ボツワナ（BOFWA）

- 資金の 60%がなくなる恐れ
- クリニック 1 カ所が閉鎖され、7 カ所ではサービスを最低限まで縮小した
- 技術スタッフの 71%を削減した

IPPF について

IPPF は、各国でセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関するサービスを提供する加盟協会で構成されています。連盟には 141 の加盟協会と 24 のパートナー団体があり、170 カ国以上で活動しています。グローバルにつながり、ローカルが主導するネットワークを通じて、1 分あたり 300 件のサービスを日々、提供しています。

グローバル・ギャグ・ルールによる人的被害を数値化すると

www.ippf.org/news/human-cost-global-gag-rule (英語)

グローバル・ギャグ・ルール導入から 1 年

<https://www.ippf.org/resource/global-gag-rule-one-year> (英語)

www.ippf.org/global-gag-rule (英語)

それぞれの国で何が起きているか

www.ippf.org/stories/i-am-afraid-what-will-happen-when-there-will-be-no-more-projects-one (英語)



国際人口問題議員懇談会 (JPFP) 事務局
(公財) アジア人口・開発協会 (APDA)

TEL: 03-5405-8844

FAX: 03-5405-8845

E-mail: apda@apda.jp

Website: <http://www.apda.jp>

JPFP 入会をご希望の方は、apda@apda.jp までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

尚、本ニュースレターの配信停止をご希望の方は apda@apda.jp までお願いいたします。